



事務事業名	妊婦・乳幼児健康教室事業	事務事業No.	10203000338	所属課	健康推進課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	パパ・ママクラス(現: マタニティクラス)については、S41年に母子保健法が施行され、それに基づき、保健センター設置当時より妊婦を対象に開始し、現在に至る。育児方法や出産の情報の多様化に伴い内容も検討をかさね、夫の参加も取り入れた。H11年男女協働参画基本法が施行され、夫婦で子育てができる環境整備を図るようになった。乳幼児健康教室については、H22年度より子育て支援センターと協力して実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加した妊婦より土・日の開催や妊娠時期(初期、中期、後期)に合わせ教室の運営をして欲しいと要望あり。また、参加医療機関によっては妊婦教室を行っていない所もあり、市の事業に参加できた事で、育児に勇気をもって取り組めると感想があった。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教室に参加することで、安心して妊娠・出産・育児ができるようになることは、子育て支援に結びついている。
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市で行うことで、参加者が妊娠・出産・育児についての知識を学ぶとともに、母親同士の交流や仲間づくりの機会にもなる。また、妊娠中から早期にかかわることで、虐待防止につながる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 参加率を上げる必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教室に参加することで妊婦や子育て中の保護者の交流の場となり、出産や育児に対する不安の軽減にもつながっている。また母親学級(マタニティクラス)を開催していない医療機関もあるので子育てへの影響がでる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない マタニティクラスについては、統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない マタニティクラスは雇いあげ助産師で1回1時間依頼しているのみであるので削減余地はない。また、健康教室は各関係機関の経費で実施しているため、効率的な人員で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各クラス対象者に通知にてマタニティクラスの周知をしている

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成30年度より土・日開催の要望に対して1回のみ土曜日に開催した。平日よりも全体の参加人数も増加し、夫・パートナーの参加率が良かった。実施内容に関しては、医療機関で実施されていない育児体験等ができる内容にしておき、特に沐浴や助産師の講話、マタニティヨガは妊婦に好評である。																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 土・日曜日の開催の継続検討。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>